第44期第２四半期
決算説明資料

お客様の価値観を共有するパートナー
Value Engagement Partner
株式会社システム情報

目次

Ⅰ．　2023年9月期第2四半期 決算ハイライト

Ⅱ．　2023年9月期 業績予想（通期予想）

Ⅲ．　直近トピックス

Ⅳ．　DXへの取組み

参考資料

① 当社の概要

② 持続的成長に向けた継続的取組み

③ ESG、SDGs、社会貢献活動

Copyright ©2023 SYSTEM INFORMATION CO.,LTD. All Right Reserved.

Ⅰ．2023年9月期第2四半期
決算ハイライト

Ⅰ-1．決算概要（連結）

連結損益計算書

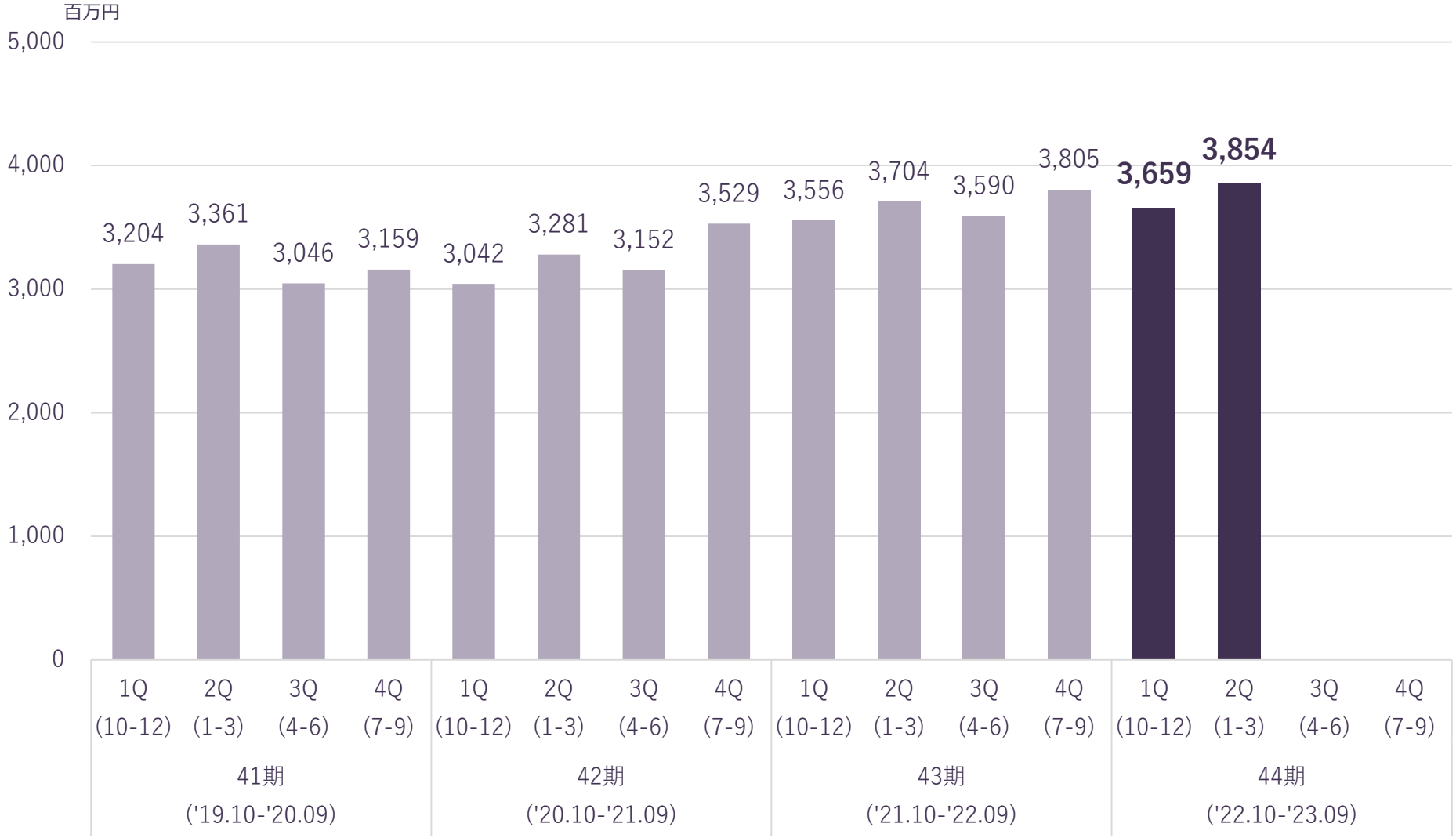
単位：百万円

科目	2022年9月期 第2四半期		2023年9月期 第2四半期		前年同期 増減率
	金額	売上高比	金額	売上高比	
売上高	7,259	100.0%	**7,511**	**100.0%**	**3.5%**
売上総利益	1,661	22.9%	**1,561**	**20.8%**	**▲6.0%**
販売費及び一般管理費	575	7.9%	**688**	**9.2%**	**19.5%**
営業利益	1,085	15.0%	**873**	**11.8%**	**▲19.5%**
経常利益	1,085	15.0%	**878**	**11.7%**	**▲19.1%**
当期純利益	737	10.2%	**588**	**7.8%**	**▲20.2%**
1株当たり当期純利益 (円)	31.55	–	**25.54**	**–**	**▲19.1%**

Copyright ©2023 SYSTEM INFORMATION CO.,LTD. All Right Reserved.

Ⅰ-2．四半期推移 ①売上高

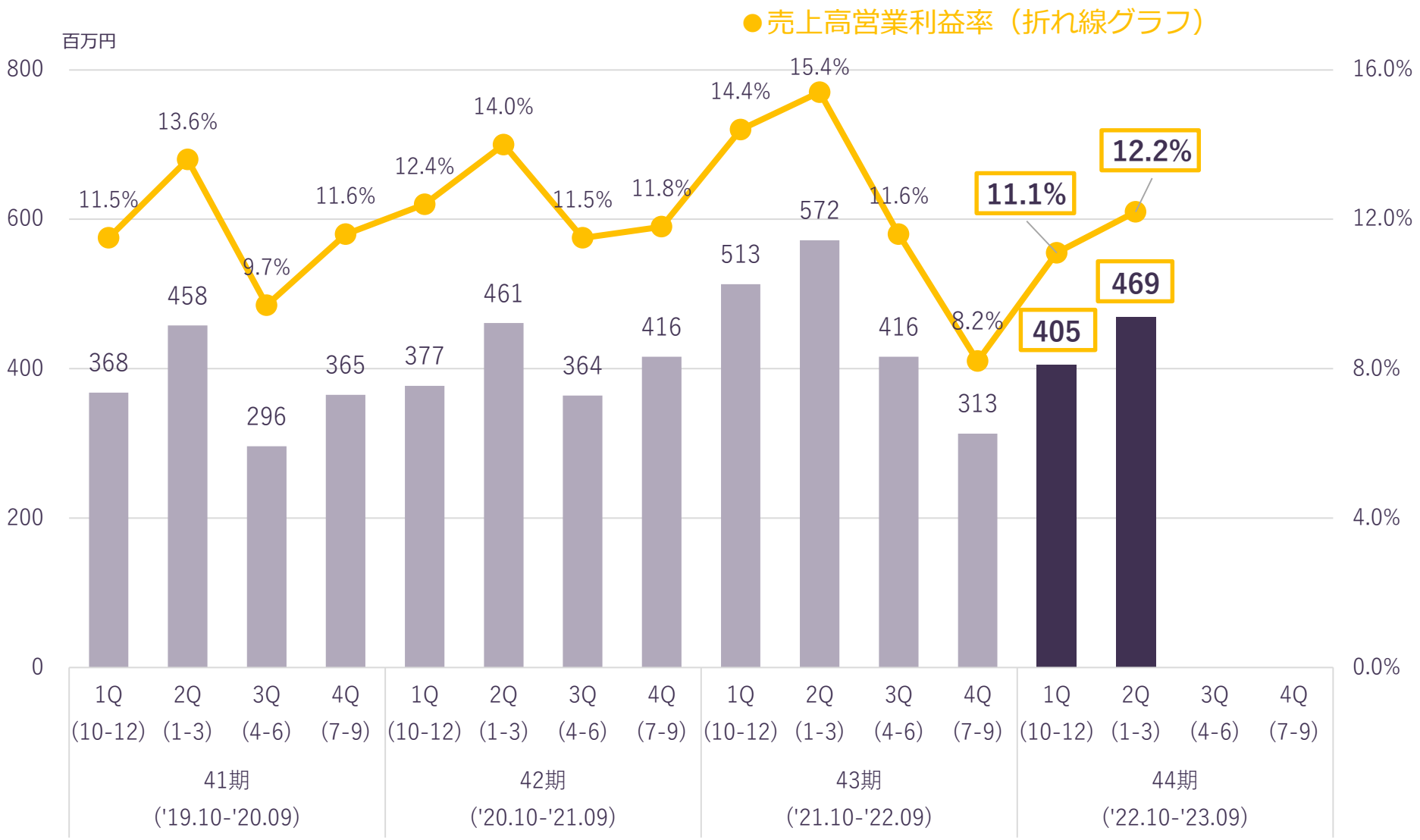
四半期売上高推移



Copyright ©2023 SYSTEM INFORMATION CO.,LTD. All Right Reserved.

Ⅰ-2．四半期推移 ②営業利益と利益率

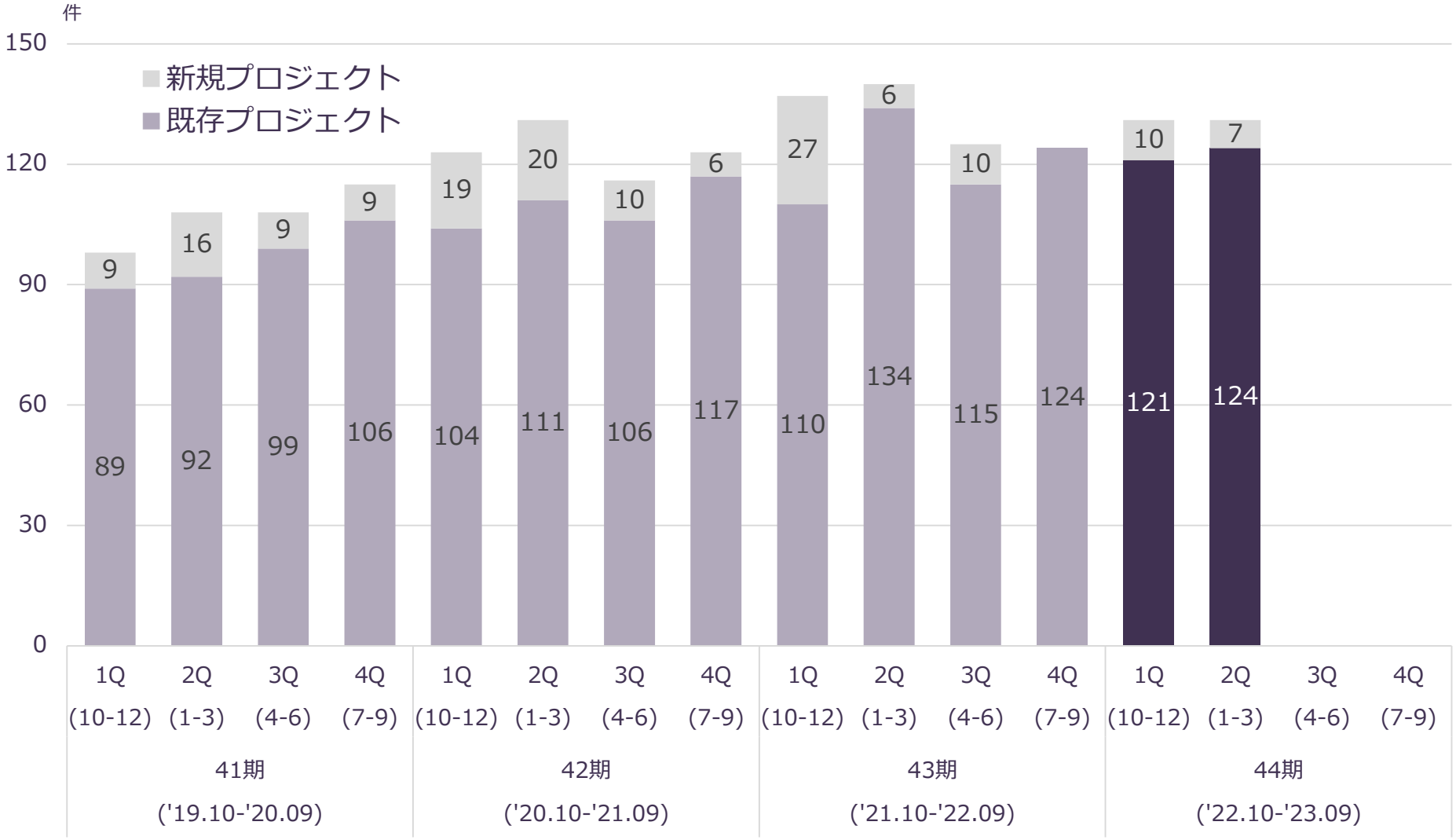
四半期営業利益・利益率推移



Copyright ©2023 SYSTEM INFORMATION CO.,LTD. All Right Reserved.

Ⅰ-2．四半期推移 ③稼働プロジェクト数

稼働プロジェクト数推移



Copyright ©2023 SYSTEM INFORMATION CO.,LTD. All Right Reserved.

Ⅰ-3．第2四半期決算のポイント ①全般

◆ ビジネスの変化、消費動向の変化の中で

デジタル化加速・DX関連需要が一段と増大

◆ ポテンシャル人材の新規採用・教育、既存人材のリスキリング時間確保等により

稼働率抑制で売上高は前年同期比3.5%増
（2億52百万円増）に留まる

◆ 採用、教育・研究、待遇改善、システム刷新等により

経費は約3億円増加

- 高付加価値人材創出の成果で、**DX案件比率は3割超**
- 四半期売上高は**前年同期比3.5%増ながら過去最高**
- 人材投資等による経費増で、営業利益は前年同期比
  2億34百万円減の8億74百万円（配当予想は変更無し）

Copyright ©2023 SYSTEM INFORMATION CO.,LTD. All Right Reserved.

Ⅰ-3．第2四半期決算のポイント ②成長投資

第43期獲得
営業
キャッシュ
フロー

9億56百万円

第43期末
株主配当

4億38百万円

**フリー
キャッシュ
フローを
成長投資へ**

第44期上半期実績 ※固定資産計上も含みます

◆人材への直接投資増加：2億83百万円
→採用、教育・研究、待遇改善

◆開発拠点の拡充：50百万円(※)

◆システム刷新：36百万円(※)
→経営状況可視化の強化

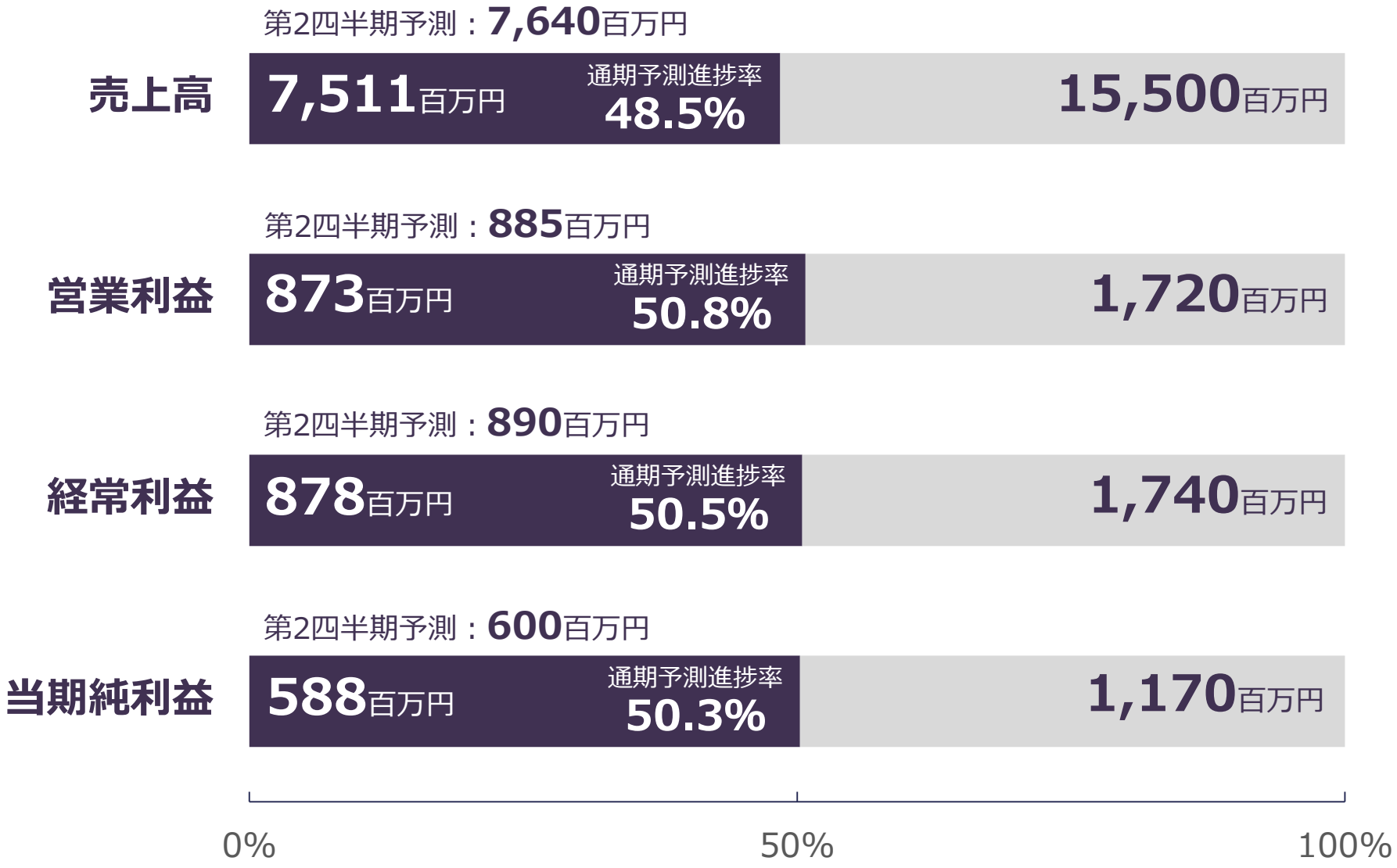
第44期下半期計画

◆人材への直接投資の継続

◆システム刷新の仕上げ

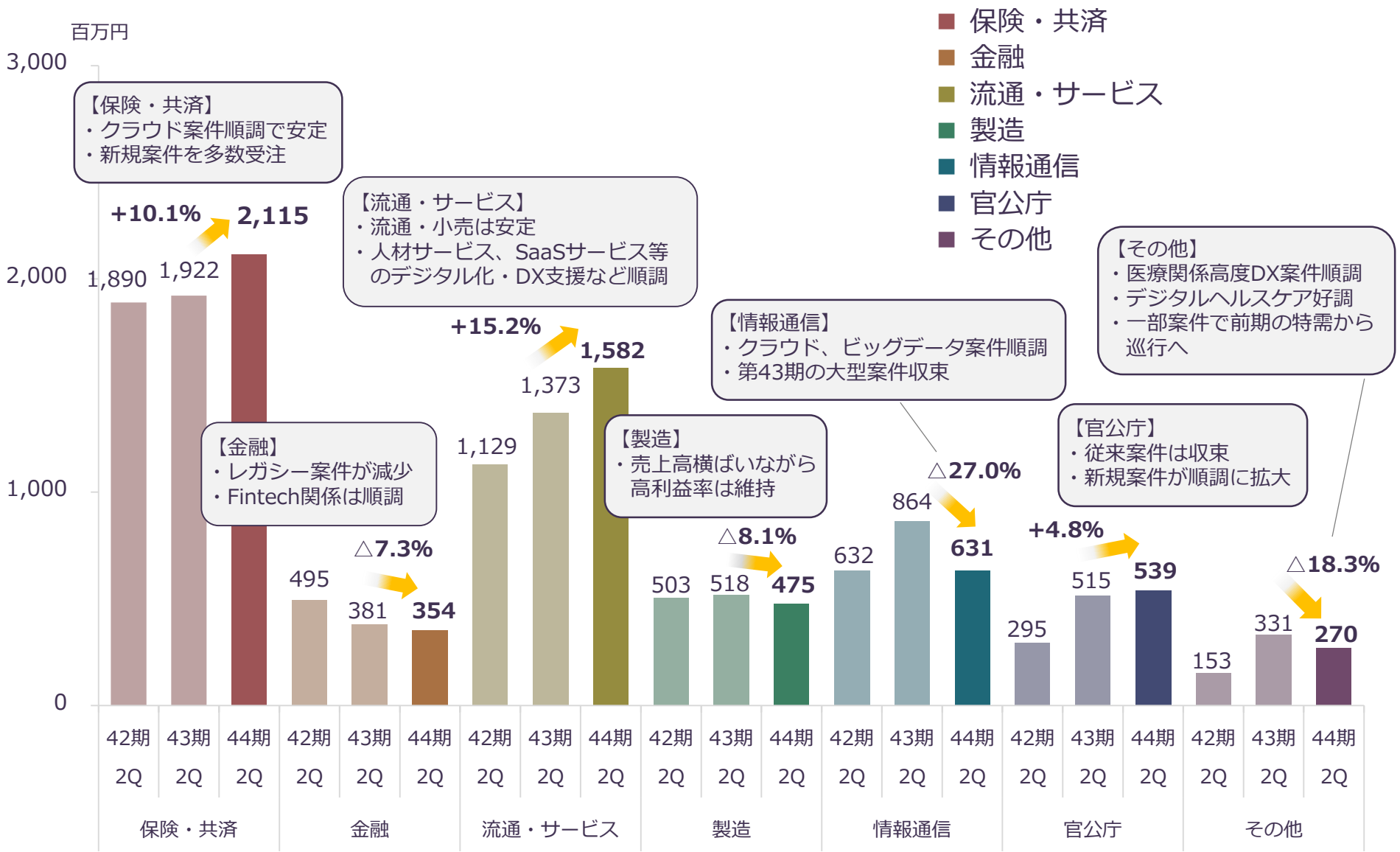
Copyright ©2023 SYSTEM INFORMATION CO.,LTD. All Right Reserved.

Ⅰ-4．第２四半期進捗



Copyright ©2023 SYSTEM INFORMATION CO.,LTD. All Right Reserved.

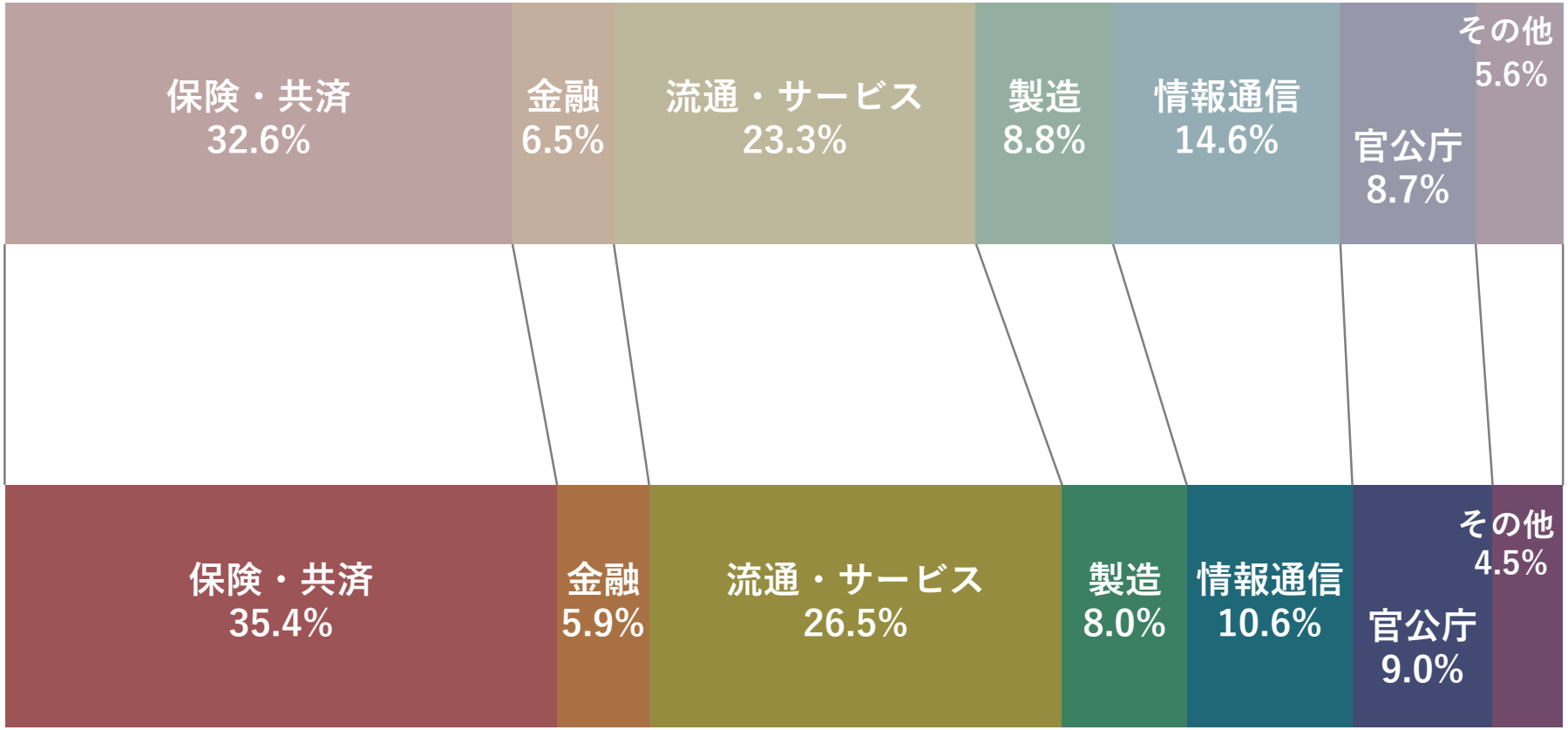
Ⅰ-5．業種別売上高（単体）　①推移



Copyright ©2023 SYSTEM INFORMATION CO.,LTD. All Right Reserved.

Ⅰ-5．業種別売上高（単体）　②比率

43期第2四半期 売上高合計 5,902百万円



44期第2四半期 売上高合計 5,966百万円

Copyright ©2023 SYSTEM INFORMATION CO.,LTD. All Right Reserved.

Ⅰ-6．財政状態（連結）

連結貸借対照表

単位：百万円

	2022年9月期	2023年9月期 第2四半期	増減	増減要因
流動資産	6,139	**6,094**	△44	（－）現預金
固定資産	1,656	**1,828**	171	（＋）投資その他の資産
資産合計	7,795	**7,922**	126	
流動負債	2,098	**1,937**	△161	
固定負債	295	**390**	94	（＋）長期借入金
負債合計	2,394	**2,327**	△67	
純資産合計	5,400	**5,595**	194	（＋）利益剰余金 （－）株主配当金
負債純資産合計	7,795	**7,922**	126	

自己資本比率 **70.6%**

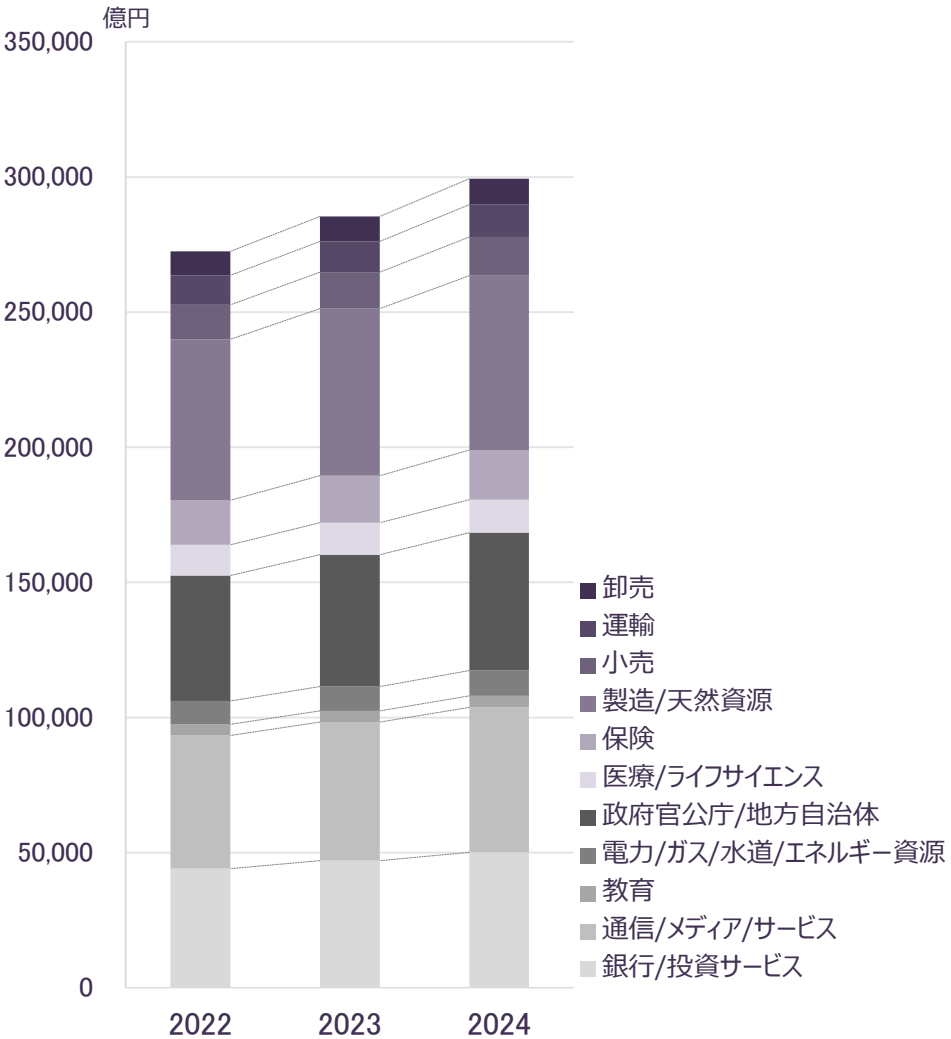
Copyright ©2023 SYSTEM INFORMATION CO.,LTD. All Right Reserved.

Ⅱ. 2023年9月期 業績予想
（通期予想）

Ⅱ-1．業界動向

Gartner※『日本の業種別IT支出予測』

※ガートナージャパン
IT分野を中心とした調査・助言を行う米企業



業種	年間成長率（2022）	年間成長率（2023）	年間成長率（2024）
卸売	3.5%	3.5%	3.8%
運輸	3.8%	5.0%	4.5%
小売	4.9%	6.0%	6.6%
製造/天然資源	3.4%	3.7%	4.5%
保険	5.2%	5.0%	4.9%
医療/ライフサイエンス	4.1%	3.9%	3.8%
政府官公庁/地方自治体	7.7%	5.3%	4.3%
電力/ガス/水道/エネルギー資源	2.5%	3.1%	5.2%
教育	-11.5%	1.1%	2.5%
通信/メディア/サービス	6.2%	4.2%	4.5%
銀行/投資サービス	7.9%	6.8%	6.6%

- 日本のエンタープライズIT市場は2022年から2026年までは年平均成長率4.6%成長見込み
- デジタル化関連投資を最優先事項のひとつと位置付ける企業は多い
- 銀行/投資サービス、小売で高い成長が見込まれる

Copyright ©2023 SYSTEM INFORMATION CO.,LTD. All Right Reserved.

Ⅱ-2．2023年9月期（下半期）の事業環境展望

事業環境展望

- ◆ 大企業の業況判断は製造業で悪化、非製造業では小幅改善（日銀短観）
- ◆ 2023年度の大企業設備投資計画、非製造業は例年よりやや強気（日銀短観）
- ◆ 2023年度の大企業ソフトウェア投資額は、製造業で5.7%増加見込み、非製造業で6.1%増加見込み（日銀短観）
- ◆ DX市場は拡大基調/DX関連の国内市場は2021年度から2030年度で2.8倍との予測（株式会社富士キメラ総研）
- ◆ 企業向けシステム開発は、業種で強弱あるが全般として順調

当社への影響見込み

- ◆ DX案件を中心とした引き合いの増加
- ◆ 流通・小売、サービスなど非製造業での案件は引き続き好調
- ◆ ビジネス展開スピードにあわせた開発スピード訴求により、当社が得意とする
  - ・「CAMBRICを始めとする先端技術」＋「SaaS」の効果的な組み合わせ
  - ・「ノーコード・ローコード開発」を使った高速開発の実現

  などのニーズ拡大

Copyright ©2023 SYSTEM INFORMATION CO.,LTD. All Right Reserved.

Ⅱ-３．2023年9月期（下半期）以降の事業活動等

当社事業活動

- ◆ DXビジネスの拡大
  - ⇒ DX割合が高い案件の受注強化
- ◆ 人材育成強化を継続することで、通期売上高見込（155億円）は変更無し
- ◆ 高度領域案件受注、高付加価値人材の価格転嫁による受注単価アップ
  - ⇒ 採用や教育強化による経費増を徐々に吸収予定
- ◆ 前期獲得の営業キャッシュ・フローは下半期も積極投資
- ◆ 新卒採用者の育成（基礎教育から現場教育へ徐々に移行）
  - ⇒ 当期第4四半期から来期にかけて戦力化
- ◆ 第二新卒等中途採用者のDX教育（DX Expert Academy）と戦力化
- ◆ 既存社員のリスキリング（デザイン思考などメソドロジー強化）

当社財務活動

- ◆ １株当り配当金（19円）は維持予定

Copyright ©2023 SYSTEM INFORMATION CO.,LTD. All Right Reserved.

Ⅱ-4．2023年9月期業績予想（連結）

連結損益計算書

単位：百万円

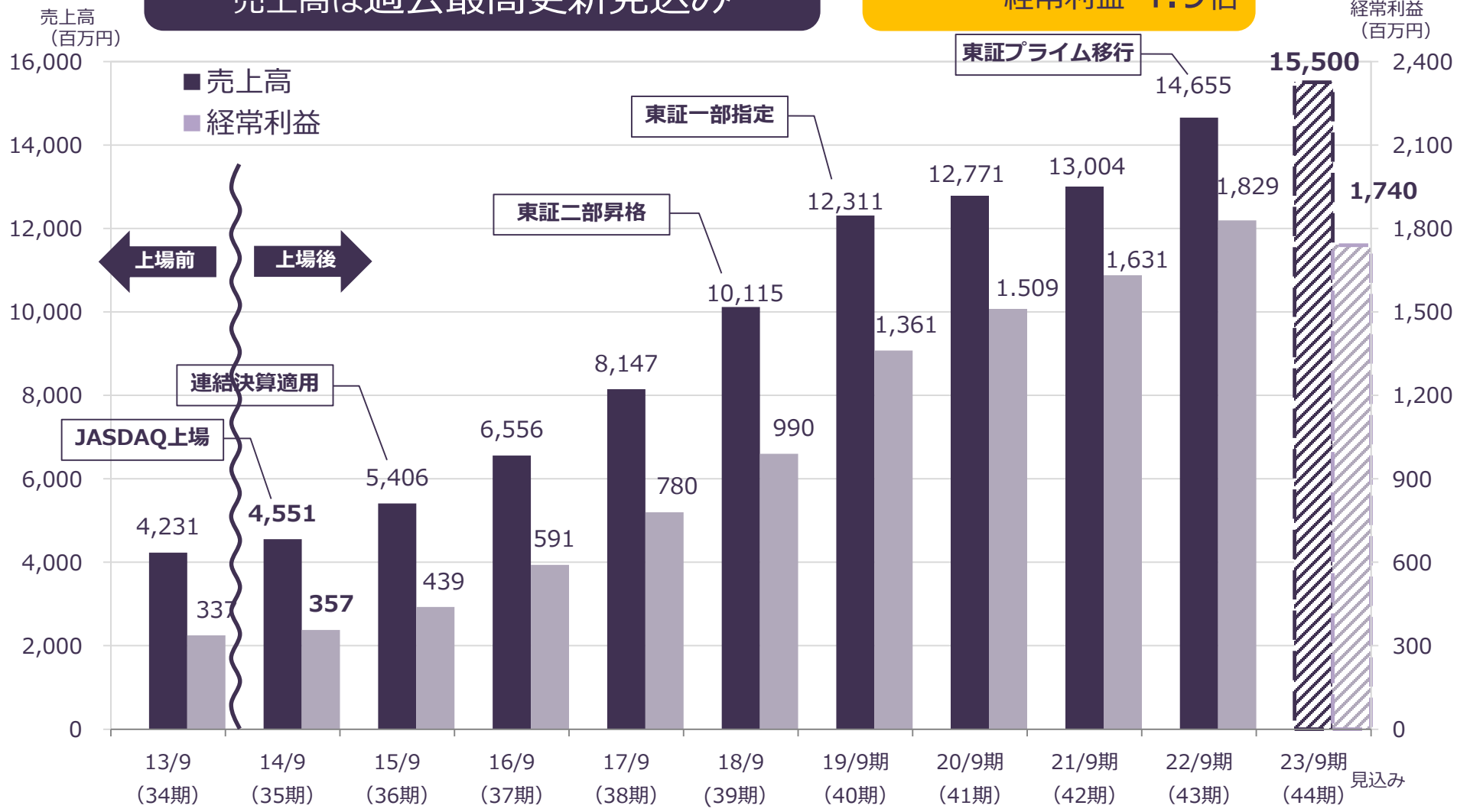
科目	2022年9月期（実績）		2023年9月期（予想）		前期比増減率
	金額	売上高比	金額	売上高比	
売上高	14,655	100.0%	**15,500**	**100.0%**	**5.8%**
営業利益	1,815	12.4%	**1,720**	**11.1%**	**△5.3%**
経常利益	1,829	12.5%	**1,740**	**11.2%**	**△4.9%**
当期純利益	1,242	8.5%	**1,170**	**7.5%**	**△5.9%**
1株当たり当期純利益	53.36	－	**50.78**	**－**	**△4.8%**
1株当たりの配当金及び配当性向	19.0円（35.6%）		**19.0円（37.5%）**		**－**

Copyright ©2023 SYSTEM INFORMATION CO.,LTD. All Right Reserved.

Ⅱ-5．業績推移（売上高・経常利益）

上場以降10期連続増収へ
売上高は過去最高更新見込み

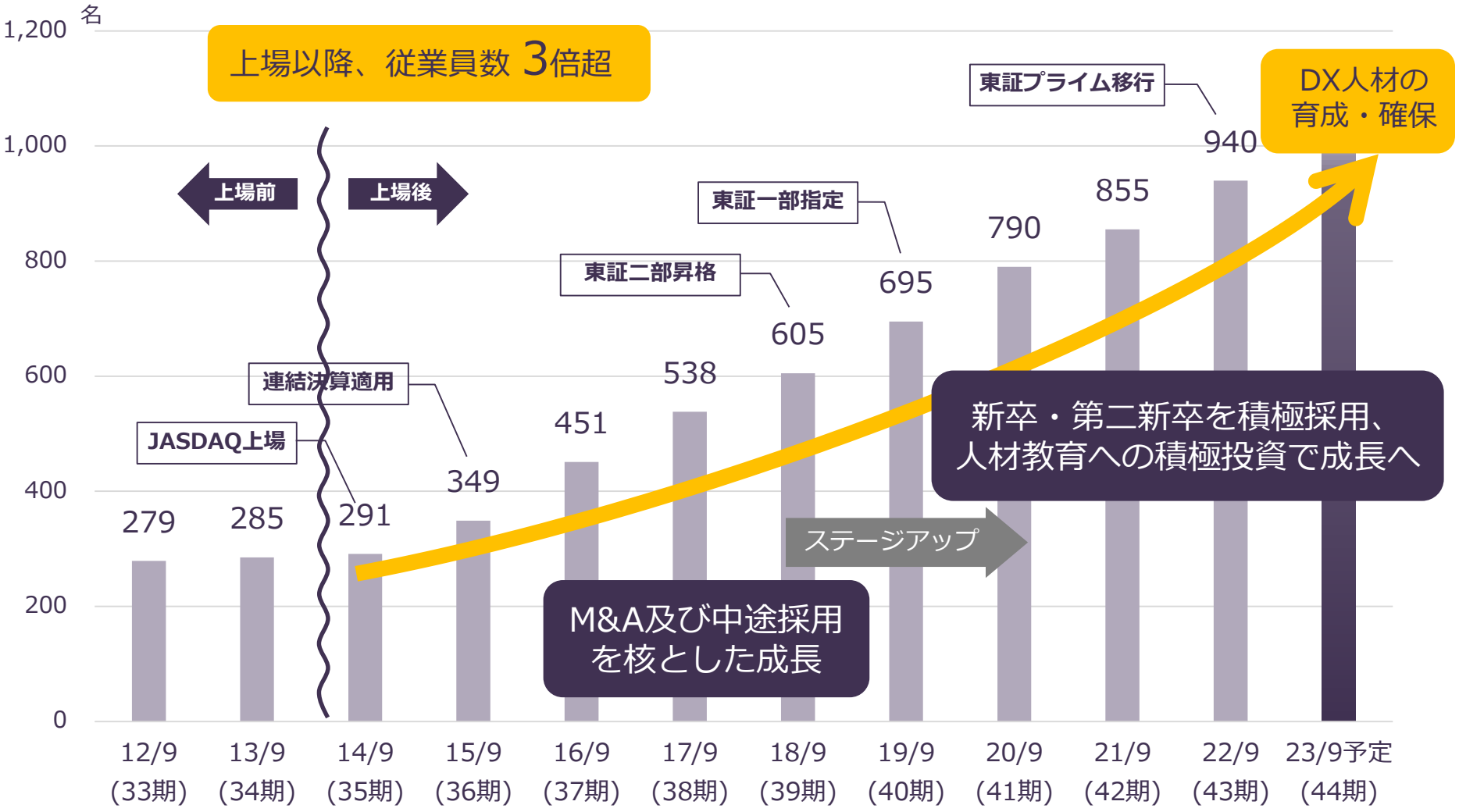
上場以降、売上高 3.4倍
経常利益 4.9倍



Copyright ©2023 SYSTEM INFORMATION CO.,LTD. All Right Reserved.

Ⅱ-6．従業員数推移

外部成長（M&A＆中途採用） ⇒ **内部成長**（若手採用＆教育投資）



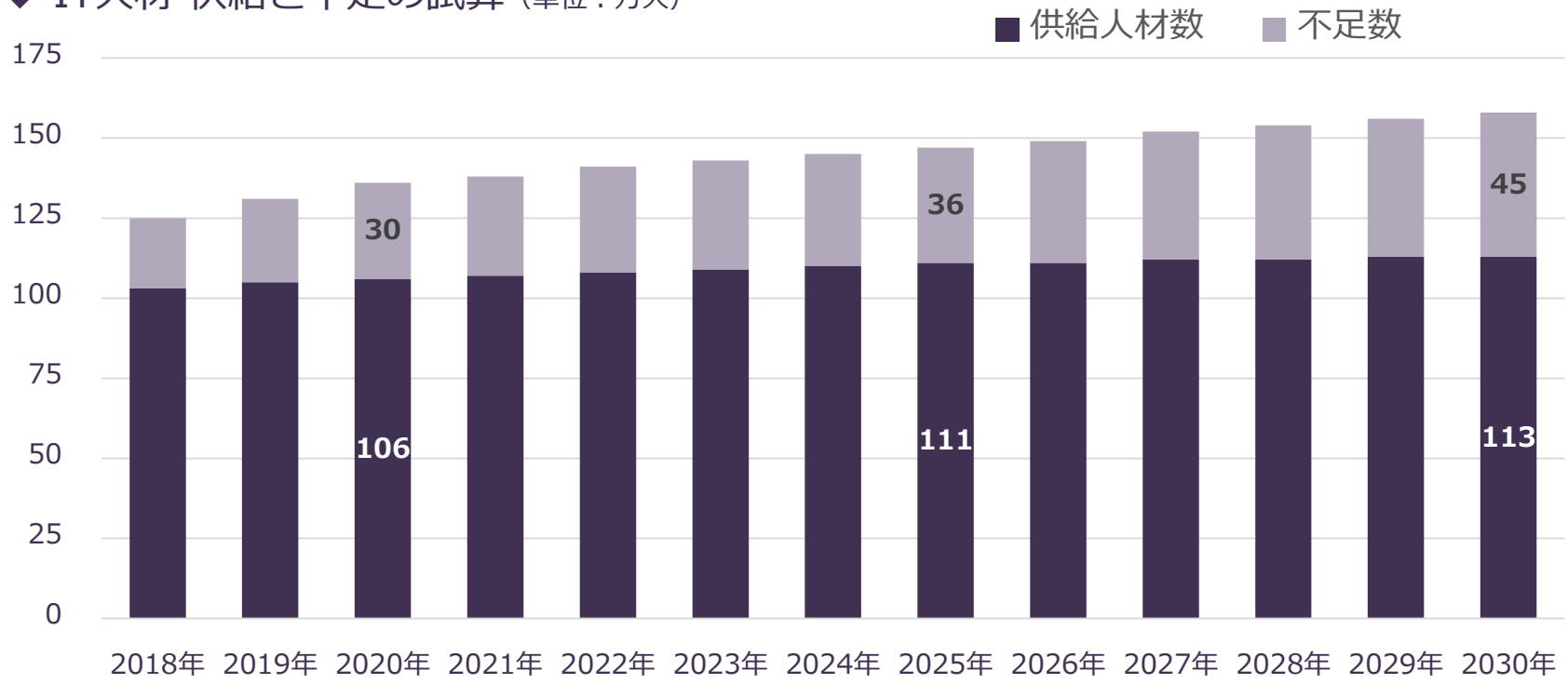
Copyright ©2023 SYSTEM INFORMATION CO.,LTD. All Right Reserved.

Ⅱ-7．IT人材需給の状況（経済産業省調査・試算）

IT人材の需給ギャップは大きい

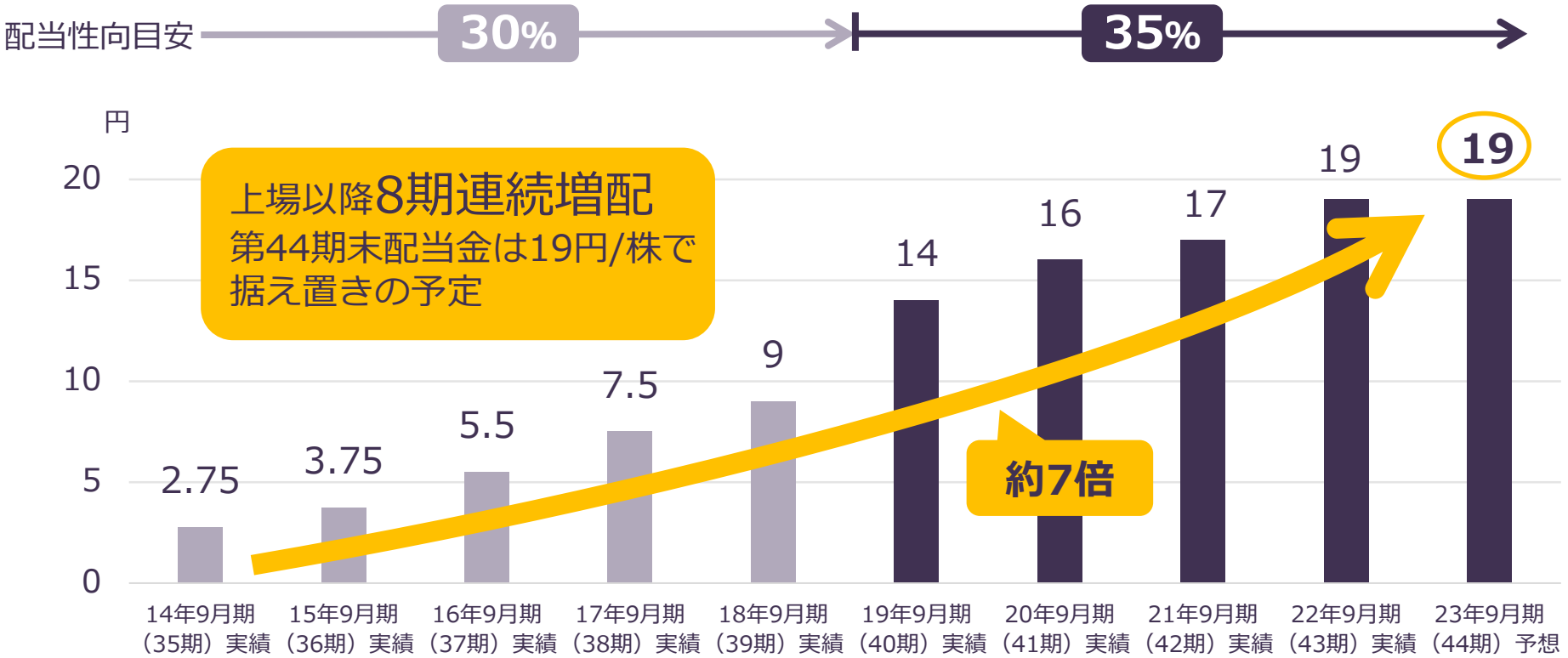
2030年にIT人材は約45万人の不足、
IT需要の伸びが高位だった場合は約79万人の不足

◆ IT人材 供給と不足の試算（単位：万人）



Copyright ©2023 SYSTEM INFORMATION CO.,LTD. All Right Reserved.

Ⅱ-8．配当・株主還元の方針



	14年9月期（35期）実績	15年9月期（36期）実績	16年9月期（37期）実績	17年9月期（38期）実績	18年9月期（39期）実績	19年9月期（40期）実績	20年9月期（41期）実績	21年9月期（42期）実績	22年9月期（43期）実績	23年9月期（44期）予想
配当金額	22	15	22	15	18	14	16	17	19	19
配当性向	30.6%	31.4%	31.0%	32.2%	30.3%	36.1%	36.8%	36.3%	35.6%	37.5%
		▲		▲		▲				
		株式分割（1：2）		株式分割（1：2）		株式分割（1：2）				

注）当社は、2015年7月1日に1株を2株の割合で、2017年6月1日に1株を2株の割合で、2019年5月1日に1株を2株の割合で株式分割を行っております。配当金額については、当該株式分割を考慮して算定しています。

Copyright ©2023 SYSTEM INFORMATION CO.,LTD. All Right Reserved.

Ⅲ. トピックス

Ⅲ. トピックス ①人材強化/採用強化

新卒採用・中途採用（第二新卒含む）の強化

デジタル・ネイティブ世代の
積極採用により当期**114名純増**
（2023年4月末現在、新卒を含む）

当社デジタル技術

×

Ｚ世代のデジタル感性

×

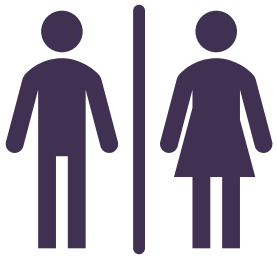
顧客ビジネスの理解

＝

DX加速化
顧客のビジネス価値増大

4月に新卒76名が入社

男女比率が大幅改善



当期入社新卒　男性**6割**：女性**4割**

当社既存社員　男性**8割**：女性**2割**

業界の一般像※　男性**8割**：女性**2割**

※情報サービス産業協会（JISA）調べ

Copyright ©2023 SYSTEM INFORMATION.CO.,LTD. All Right Reserved.

Ⅲ．トピックス ②新たな価値創出に向けたソリューション提供へ

Salesforceコンサルティングパートナー認定

当社先進技術

（クラウド、DMP（*1）、AI、IoT、iPaaS（*2）技術）

×

Salesforce

Salesforceをベースとした DX推進サービス事業の拡張化を図り、

Salesforceを導入・運用する企業への人材支援および体制構築をサポート

DX Solution Partner への進化

（*1）DMP：Data Management platform
データの価値を最大限に引き出し、企業の競争力を向上させるため、様々なデータを統合管理するための情報基盤です。

（*2）iPaaS：Integration Platform as a Service
複数のクラウドサービスやオンプレミス環境上に分散しているデータや業務システムを一元的に連携するためのサービス

Copyright ©2023 SYSTEM INFORMATION.CO.,LTD. All Right Reserved.

Ⅲ. トピックス ③新サービス提供開始

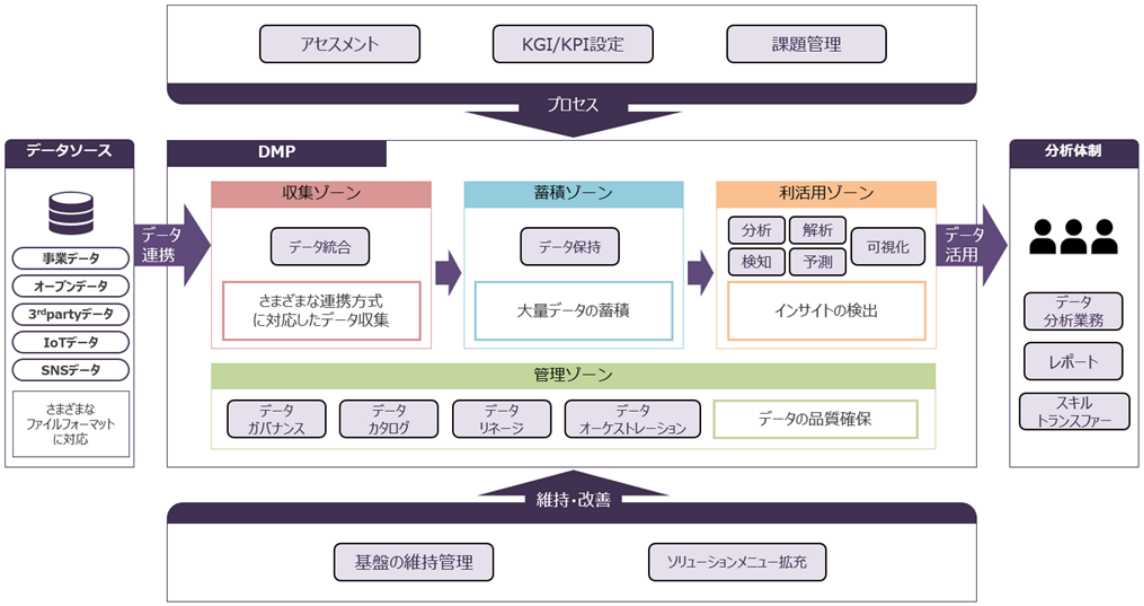
データ活用により企業の競争力を向上させる **「DMPソリューション」**

高品質なデータを管理し、経営戦略や製品・サービス企画、顧客分析などのあらゆる場面でデータ活用を推進している企業の競争力は向上しており、今後も二極化が進むことが予想されます。

本ソリューションは、当社が保有するデータマネジメント（*）やデータ分析手法、AI･クラウドなどの先端テクノロジーに関するノウハウを集約し、市場のニーズに応えるために設計したものです。

（*）データマネジメント
ビジネスの成長と成果のために「データをビジネスに活かすことができる状態を継続的に維持、さらに進化させていくための組織的な営み」によりデータを利活用すること

ソリューションの全体概念図
超上流工程のアセスメントから維持管理、分析業務までをワンパッケージで提供します。



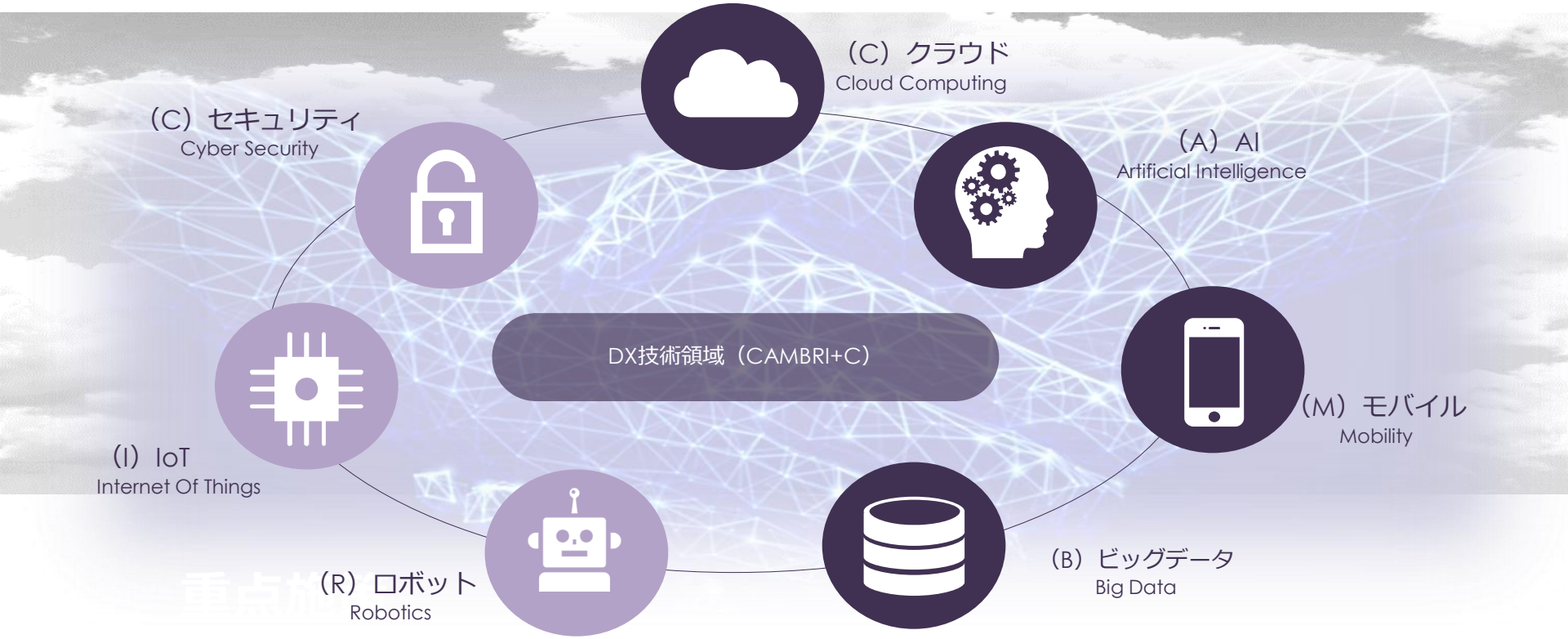
競争力向上など、顧客ビジネス価値を共創

Copyright ©2023 SYSTEM INFORMATION.CO.,LTD. All Right Reserved.

Ⅳ. DXへの取組み

Ⅳ-１．DX技術領域「CAMBRIC」

当社が確かな技術と実績を誇るCAMBRIC領域



… R&D及びエコシステム形成に注力している領域

Copyright ©2023 SYSTEM INFORMATION CO.,LTD. All Right Reserved.

Ⅳ-２．ベストプラクティス：共創型ビジネス

DXに求められる「共創型」ビジネスの豊富な実績

SoR（System of Record）/mode1		SoE（System of Engagement）/mode2
要求対応型		共創型
（従来のシステム）		（DX）
堅牢性 正確性 安定性 機密性	01 システム特性	俊敏性 柔軟性 伸縮性
ウォーターフォール型 全ての作業は事前に完全に理解できる	02 開発手法	アジャイル型 反復的に予測可能性を最適化する
情報システム部門	03 主管部門	ビジネス部門
業務効率化 業務データ処理 ガバナンス	04 システムの役割	顧客接点 ビジネス改革 新規ビジネス創出 収益の源泉
計画的変更 定義されたプロセス制御 Defined Process Control		**継続的変更** 経験的プロセス制御 Empirical Process Control

Copyright ©2023 SYSTEM INFORMATION CO.,LTD. All Right Reserved.

Ⅳ-３．DX人材強化に向けた施策

DX Expert Academy の創設

デジタル・ネイティブである「Z世代（*）」の積極採用及びDX教育の実施

（*） Z世代：1990年代中盤以降に生まれた世代を指し、生まれた時点でインターネットが利用可能な、いわゆるデジタルネイティブの始まりの世代といわれる

中期経営計画における「人材育成」の位置づけ

成長投資

内部強化		M&A
人材	R&D	
・ポテンシャル人材含めたDX人材を獲得するための投資推進 ・ CAMBRIC技術領域に対応した付加価値の高いDX人材育成投資の推進	・CAMBRIC等、先端デジタル技術の研究 ・新規事業立ち上げを後押しするための応用研究	・技術、ノウハウの獲得や、グループとしてのシナジー効果の期待できる戦略的M&Aの実行

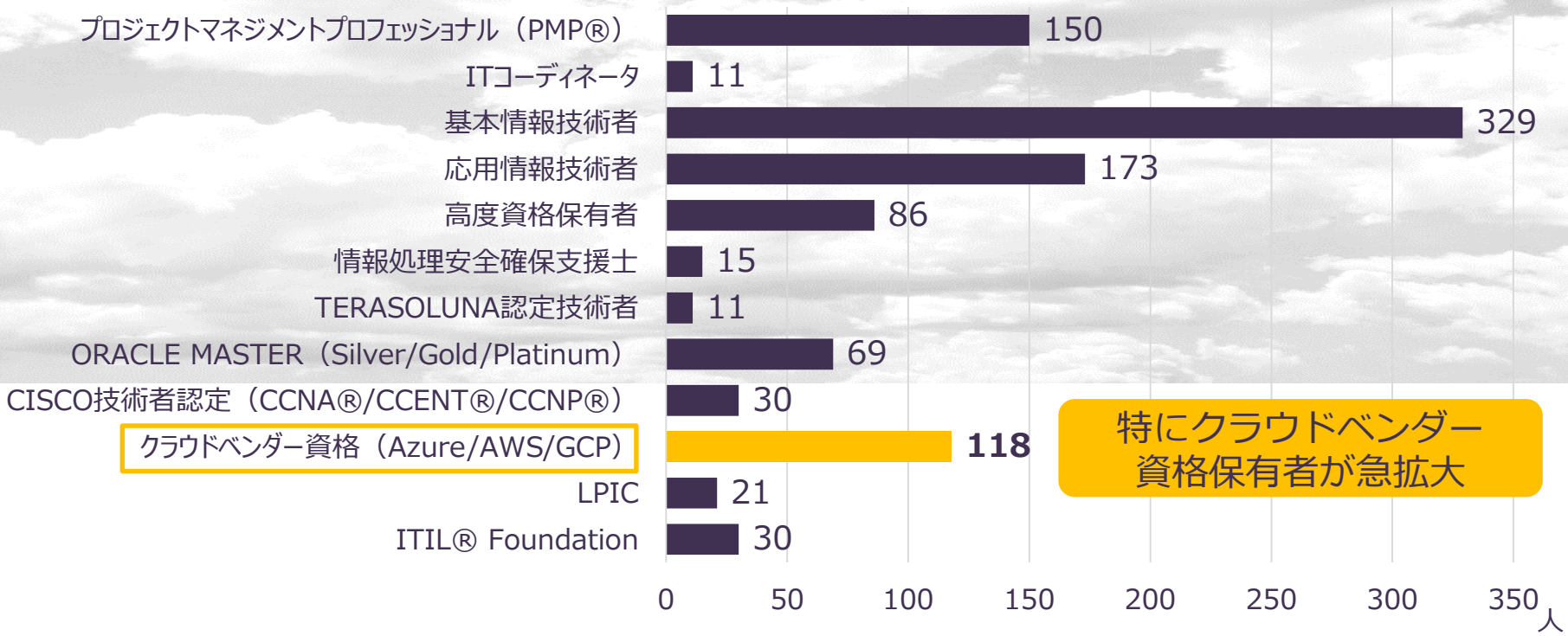
2021年11月12日開示 「中期経営計画（2021年10月-2026年9月）より

Copyright ©2023 SYSTEM INFORMATION CO.,LTD. All Right Reserved.

Ⅳ-４．DX拡充に向けたスキル強化

国家資格・ベンダー資格に至るまで、
様々なラインナップの資格保有者が在籍

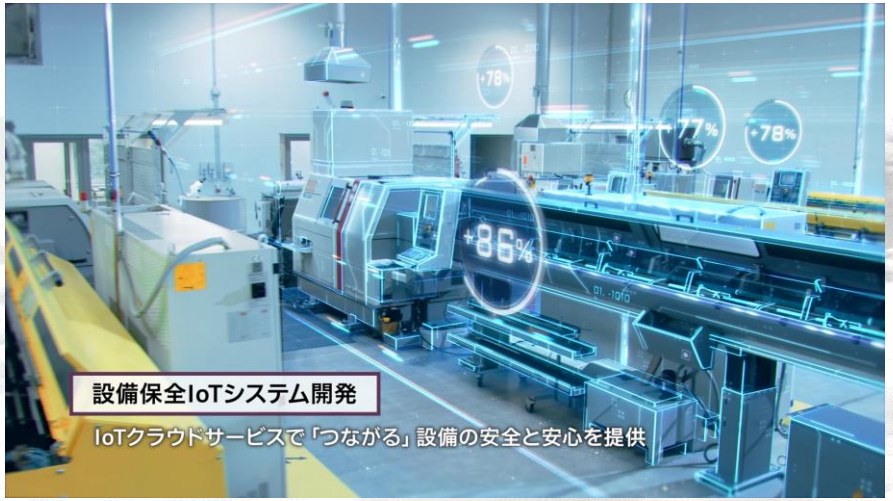
◆保有資格のスキルマップ



Copyright ©2023 SYSTEM INFORMATION CO.,LTD. All Right Reserved.

Ⅳ-５．技術と提案力を駆使した開発事例①

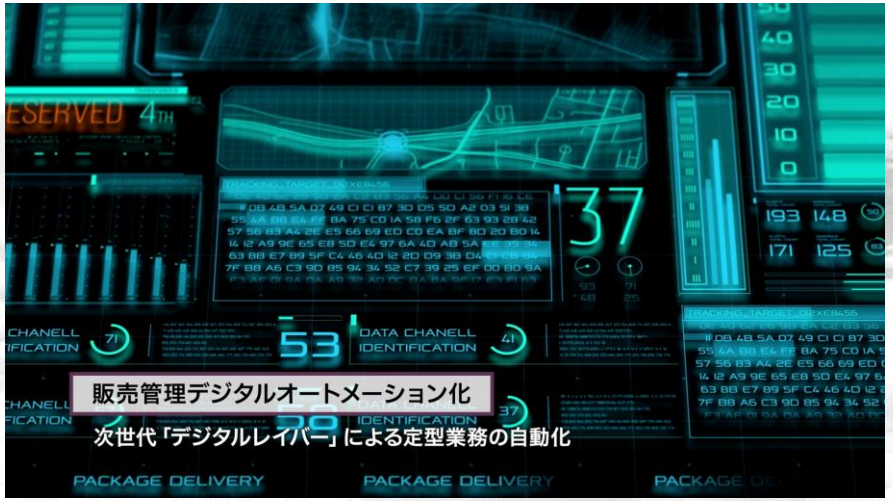
第43期定時株主総会で以下の事例を紹介いたしました

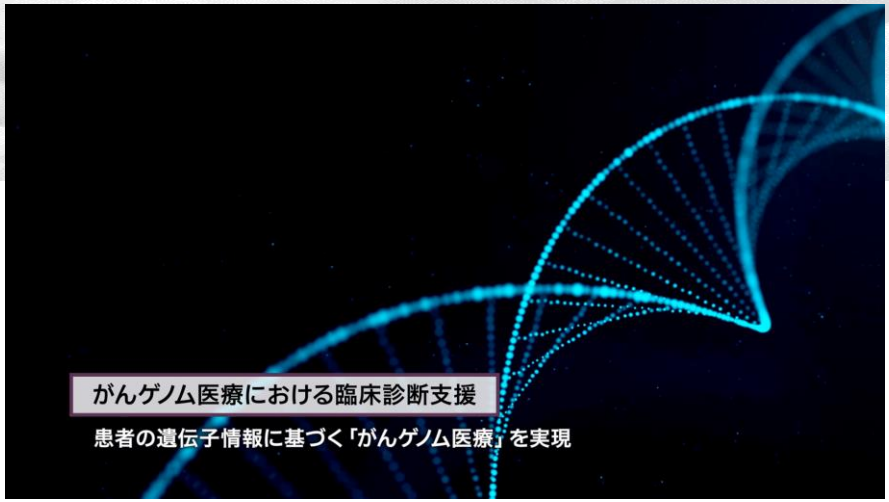


Copyright ©2023 SYSTEM INFORMATION CO.,LTD. All Right Reserved.

Ⅳ-５．技術と提案力を駆使した開発事例②

第43期定時株主総会で以下の事例を紹介いたしました





Copyright ©2023 SYSTEM INFORMATION CO.,LTD. All Right Reserved.

Ⅳ-５．技術と提案力を駆使した開発事例③

第43期定時株主総会で以下の事例を紹介いたしました

第43期定時株主総会（2022年12月22日開催）での事業報告映像より

Copyright ©2023 SYSTEM INFORMATION CO.,LTD. All Right Reserved.

＜参考資料＞

①当社の概要

②持続的成長に向けた継続的取組み

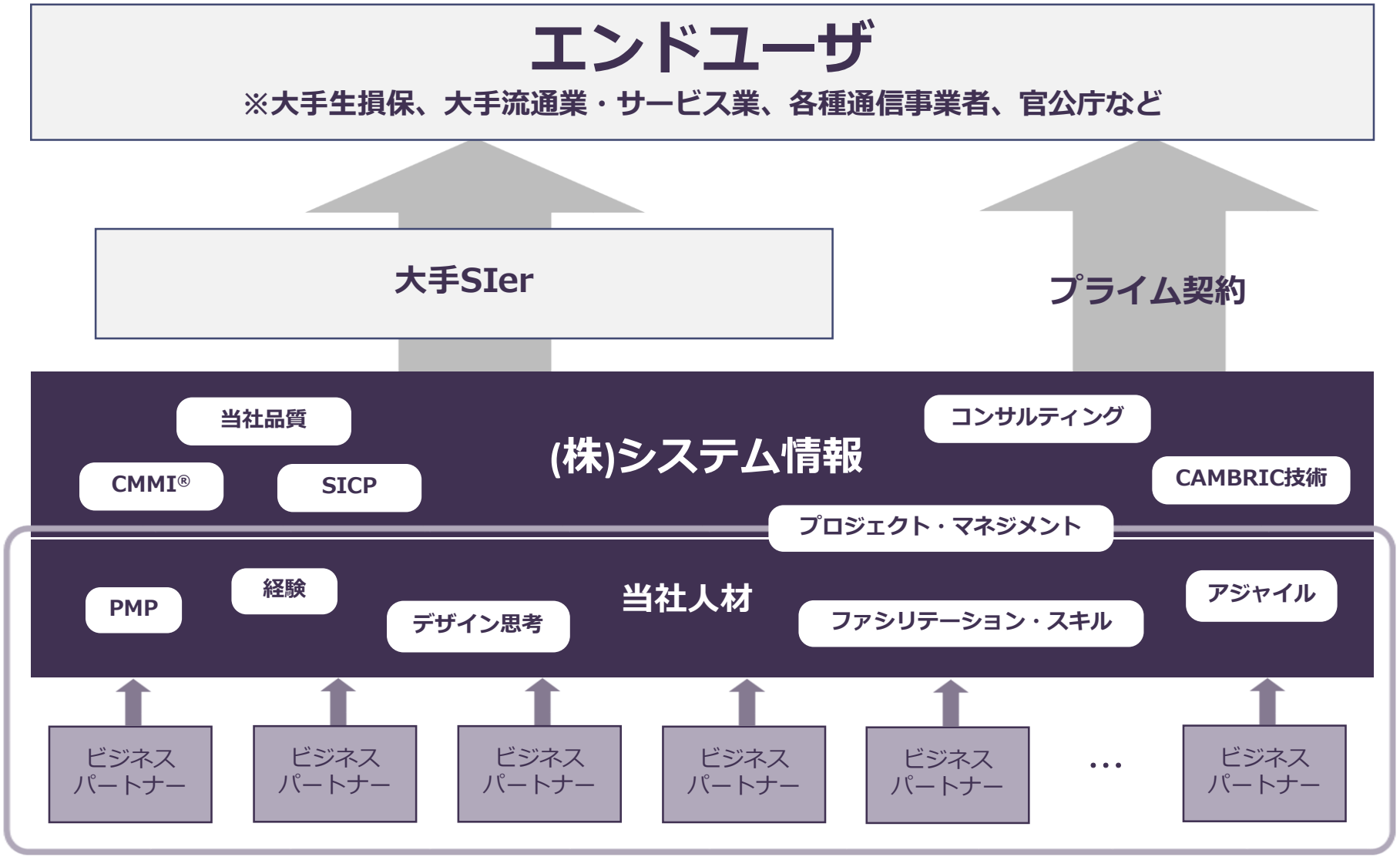
③ESG、SDGs、社会貢献活動

①-１．会社概要

社名	**株式会社システム情報**
設立	1980年（昭和55年）1月
事業内容	受託ソフトウェア開発／主として企業向け総合ITサービス
所在地	東京都中央区勝どき1-7-3　勝どきサンスクェア7階
資本金	502,636千円（2023年3月末現在）
代表	代表取締役社長　鈴木　隆司
主な株主	（株）エイチエムティ（11.4%）、日本マスタートラスト信託銀行（株）（8.3%）、松原春男（7.5%）、東京中小企業投資育成（株）（6.2%）、鈴木隆司（5.8%）、（一財）松原奨学財団（4.3%）、当社従業員持株会（2. 5%）（2023年3月末現在）
主要取引先	NTTデータグループ、第一生命情報システム（株）、日鉄ソリューションズ（株）、東芝デジタルソリューションズ（株）、三菱電機インフォメーションシステムズ（株）、日本アイ・ビー・エム（株）、リコーＩＴソリューションズ（株）、DXCテクノロジー・ジャパン（同）、ドコモ・データコム（株）
資格	**CMMI®レベル５**（2012年達成、2015年、2018年、**2021年9月継続達成**） ISO/IEC27001（情報セキュリティマネジメントシステム：ISMS）（2010年12月） ISO14001（環境マネジメントシステム）（2007年1月） プライバシーマーク（2005年12月） くるみん（2021年1月）、健康経営優良法人（2023年3月） Scaled Agile Framework ®（SAFe ®）（2021年2月）

Copyright ©2023 SYSTEM INFORMATION CO.,LTD. All Right Reserved.

①-2．SIビジネスの構造



Copyright ©2023 SYSTEM INFORMATION CO.,LTD. All Right Reserved.

①-３．SIビジネスの事業領域

新規開発フェーズ		保守フェーズ
コンサルティング	アプリケーション開発 【主な開発言語】 Java 70%　.NET 15%　他	保守開発 運用保守 （オペレータ等）
	インフラ設計構築	インフラ保守
	ネットワーク設計構築	ネットワーク保守

当社の業務範囲

Copyright ©2023 SYSTEM INFORMATION CO.,LTD. All Right Reserved.

①-4-1．差別化の原動力（開発品質の進化）

CMMI達成の歩み

レベル3
2006年9月達成

→

レベル4
2010年9月達成

→

最高位：レベル5
2012年11月達成
2015年11月達成
2018年10月達成
2021年９月達成

CMMIDEV/5℠

CMMIは米国SEIが開発したソフトウェア開発プロセスの能力成熟度モデルで、組織のプロセス能力を5段階で評価し継続的な改善を促す、体系的なプロセス改善のためのモデルです。

成熟度レベル	5	最適化している	『**安定しており柔軟である。**』企業組織は継続的な改善に焦点を合わせ、機会と変化に対して方向転換や対応ができるように構築されている。組織の安定性が、プラットフォームに機敏性と確信をもたらす。
成熟度レベル	4	定量的に管理された	『**測定され制御されている。**』企業組織は、定量的な実績の改善目標（予測可能）と共にデータで運営され、内外の利害関係者のニーズを満たすように調整する。
成熟度レベル	3	定義された	『**受け身の対応ではなく、先を見越した対応。**』組織全体の標準が、プロジェクト、プログラム、およびポートフォリオにわたって手引きを提供する。
成熟度レベル	2	管理された	『**プロジェクトレベルで管理されている。**』プロジェクトは、計画され、実施され、測定され、そして制御されている。
成熟度レベル	1	初期の	『**予測不能で受け身の反応型である。**』作業は完了するが、しばしば遅延と予算超過が発生する。
成熟度レベル	0	不完全な	『**場当たり的でわからない。**』作業が完了するか不明である。

Copyright ©2023 SYSTEM INFORMATION.CO.,LTD. All Right Reserved.

①-4-2．差別化の原動力（SIビジネスへのCMMI®の活用）

新バージョンCMMI ®V2.0での
レベル5達成国内企業は4社※のみ

※ 2023年4月末現在

CMMI®V1.3との違い
　評定において、 CMMI®V2.0では、Governance（統治）とImplementation Infrastructure（実装のインフラ）の2つのエリアが新設され、プロジェクトを成功し続けるために必要な仕組み及び基盤があるか、ガバナンスを効かせているか、という点を独立して確認。

アジャイル開発の良さであるスピードや柔軟性を活かしつつ必要な品質を達成するために、当社開発標準である「SICP」 にアジャイル用の品質保証のプロセスを策定

大規模アジャイル案件拡大の足掛かりに

Record of accomplishment
Award to
System Information Co., Ltd.
Software Development Departments and Quality Management Division
for achieving
Capability Maturity Model® Integration For Development Staged, V2.0
Maturity Level 5
September 30, 2021
Appraisal Number: 55670

Copyright ©2023 SYSTEM INFORMATION CO.,LTD. All Right Reserved.

①-4-3．差別化の原動力（CMMI®知見の更なる活用）

実績豊富なCMMIコンサルティング・サービス

CMMIリードアプレイザーや経験を積んだコンサルタントが、業務プロセス改善をサポート。
IDEAL℠モデル（※）の改善サイクルに基づいたコンサルティングサービスを提供しております。

（※）IDEAL℠モデル：SEI（Software Engineering Institute）が定めた業務改善アプローチで
Initiating/Diagnosing/Establishing/Acting/Learningの5つのフェーズで構成

01 改善推進者のためのトレーニング
- CMMIトレーニング

02 ギャップ分析
- CMMIプラクティスとのギャップ分析

03 導入・展開支援
- 課題の優先順位の設定
- 計画策定

04 アプレイザル

Copyright ©2023 SYSTEM INFORMATION CO.,LTD. All Right Reserved.

①-５．当社の強み

企業：CMMI® レベル5
(Capability Maturity Model Integration)

個人：PMP® 資格
(Project Management Professional)

お客様へ
品質保証を担保

高い資格保有率

（グローバルな資格）

開発標準［ＳＩＣＰ］
(*SI&C System Integration Control Process*)

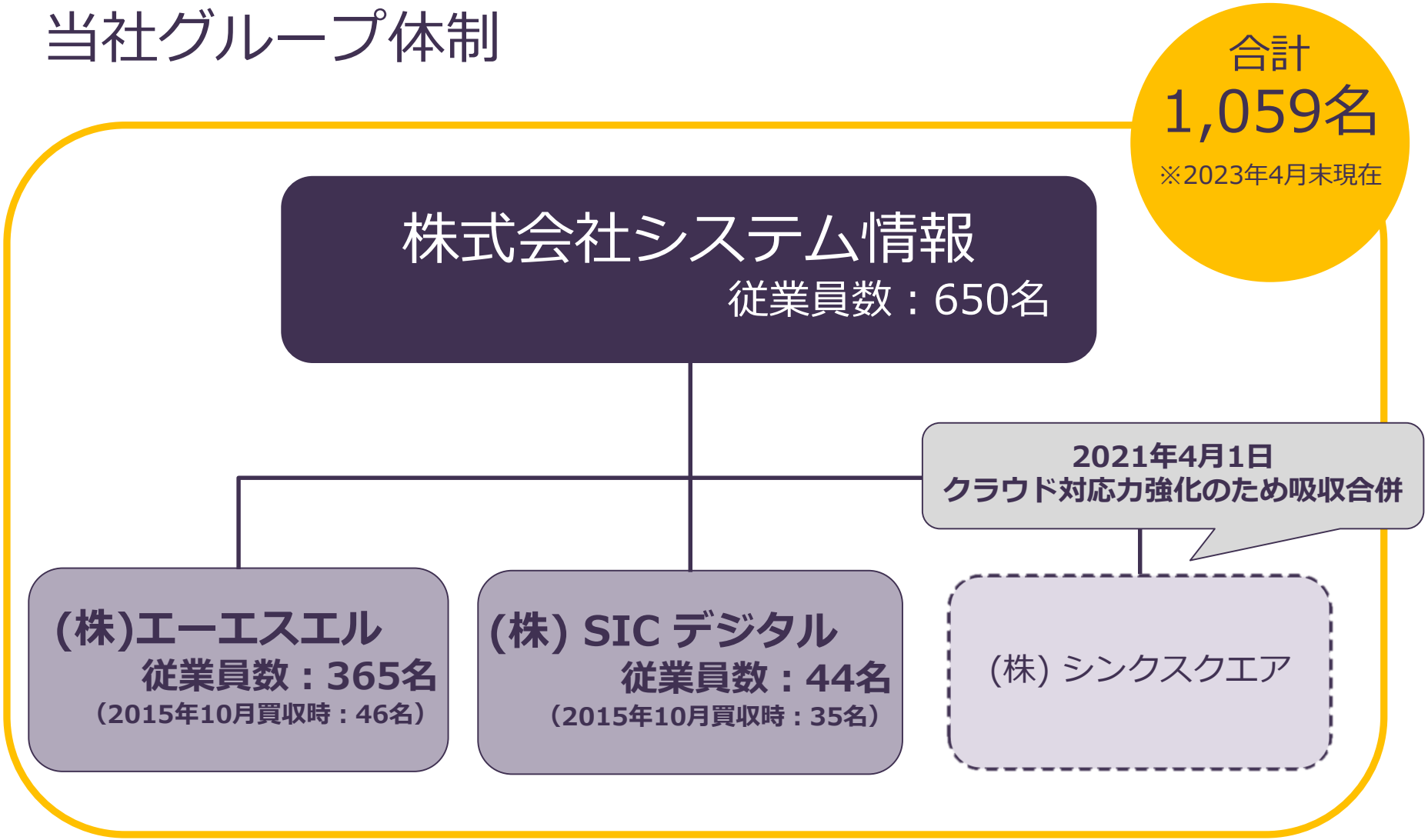
ベースは
当社独自の開発標準

プロジェクト管理の徹底を推進

Copyright ©2023 SYSTEM INFORMATION CO.,LTD. All Right Reserved.

①-6．グループ体制

当社グループ体制



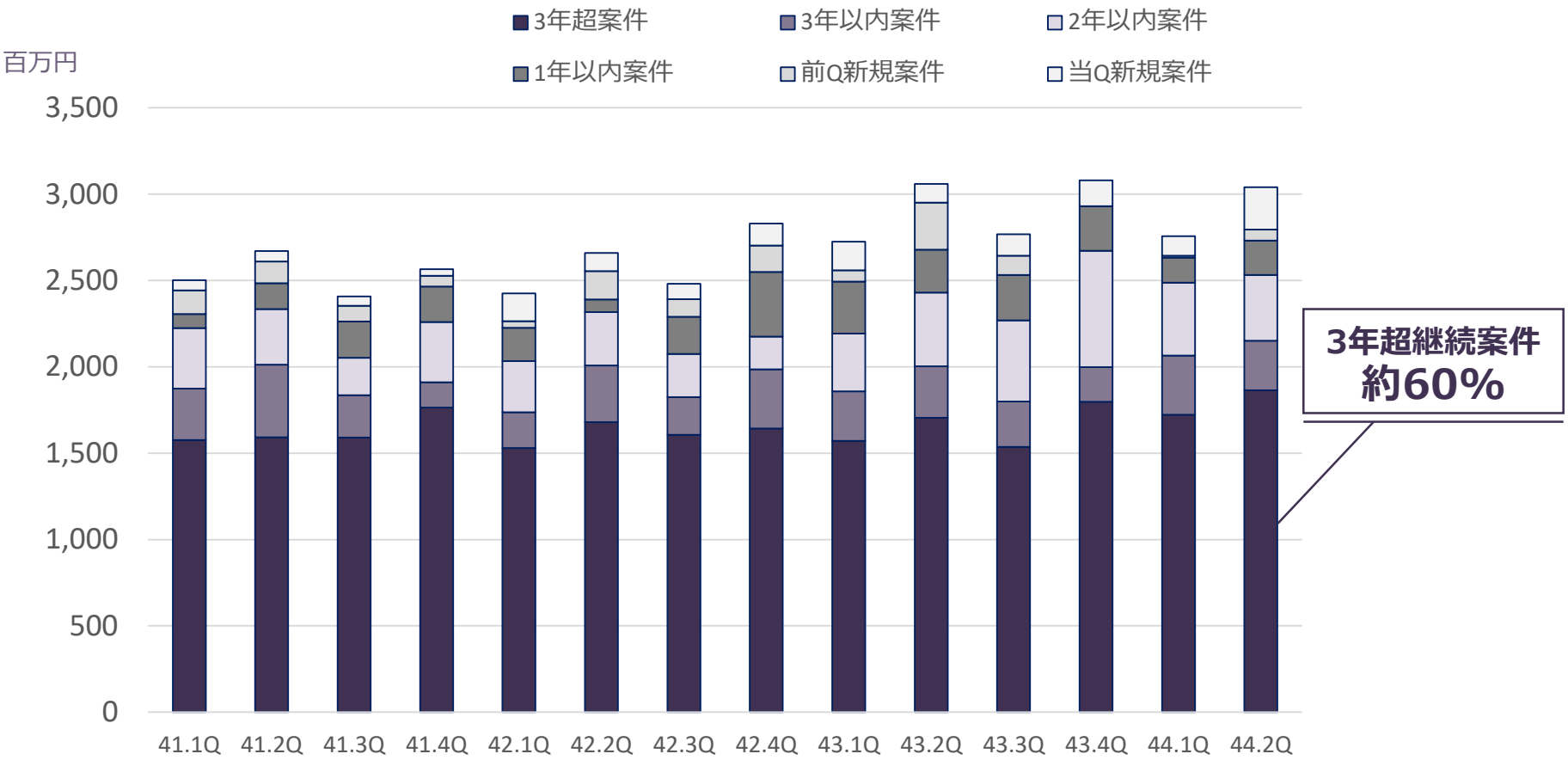
Copyright ©2023 SYSTEM INFORMATION CO.,LTD. All Right Reserved.

②-１．持続的成長に向けた継続的取組み

ストックビジネス※拡大に注力

※長期間に亘って継続する案件

ＳＩビジネスにおける継続案件と新規案件



Copyright ©2023 SYSTEM INFORMATION.CO.,LTD. All Right Reserved.

②-２．持続的成長に向けた継続的取組み

収益性向上への施策

SICP（*）の拡大と定着
（アジャイル品質、UX（デザイン思考））

（*） SICP (SI&C system Integration Control Process)
国際資格/標準であるPMBOK®、CMMI®をベースに長年に亘るSI&Cの開発ノウハウを注入して作成した開発標準。
SI&CではSICPを全てのプロジェクト開発に適用し、お客様より高い評価を得ている。

プロジェクトの品質監理の徹底

普遍的な取組み

**不採算プロジェクト発生の未然防止による
高収益率の確保**

Copyright ©2023 SYSTEM INFORMATION CO.,LTD. All Right Reserved.

③-１．ESG・SDGsに関する取組方針

中期経営VISION「Value Engagement Partner」を基にした経営を通じ、社会的価値・経済的価値を創出し、持続的な企業価値向上だけでなく、持続可能な社会の実現に貢献することを基本方針の一つとして掲げております。I

企業理念（中期経営VISION）

「Value Engagement Partner」

ESG／SDGｓに関するマテリアリティ

1.質の高いITサービスを提供し、社会に安全を

2.多様なプロフェッショナルを育成し、活躍できる社会を

3.コーポレートガバナンスを高め、責任ある企業活動を実行し、社会から信頼を

事業活動を通じた社会課題の解決

・当社のITサービス、ソリューションを通じた社会課題の解決

社会に対応した経営の高度化

・社会からの信頼を高めるためのガバナンスの維持
・ステークホルダーエンゲージメントの持続的向上

持続可能な社会への貢献

持続的な企業価値向上

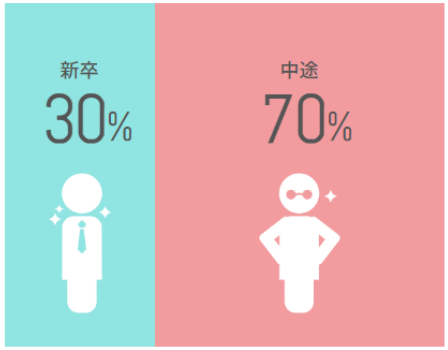
Copyright ©2023 SYSTEM INFORMATION CO.,LTD. All Right Reserved.

③-２． ESG取組み

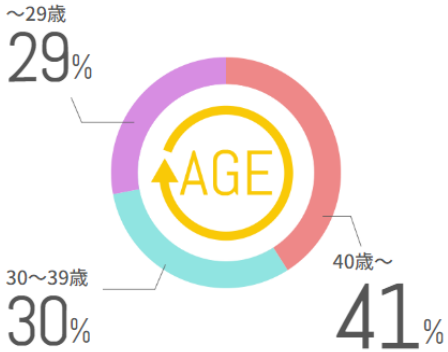
「健康経営優良法人2023」認定

人材の多様性

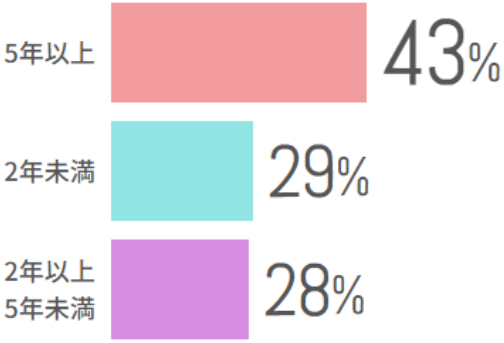
新卒・中途比率



社員の年代



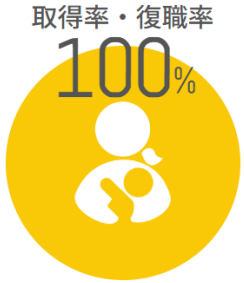
勤続年数



労働環境

平均残業時間

女性社員の産休育休



育休6名中 男性社員2名
※2023年4月末現在

※ 各数値は、システム情報単体

Copyright ©2023 SYSTEM INFORMATION CO.,LTD. All Right Reserved.

③-２．社会貢献活動

障がい者雇用の促進：わかばファーム

地域貢献活動
子ども食堂「おひさまキッチン」への支援

開発途上国における給食支援活動
TABLE FOR TWO Internationalへの支援

TABLE FOR TWO 主催の「おにぎりアクション2022」にも協賛
（2022年9月1日PR情報）

IT教育への取り組み：地域ICTクラブ活動

2018年に狭山市産業振興課ならびに地域企業と早稲田大学グローバルソフトウェアエンジニアリング研究所が連携して始めて以降、狭山市公民館と同研究所が連携しておこなっているICTクラブ活動に、当社取締役の鷲﨑、フェローの小林が参画し、小中学生を対象にモノづくり体験を通じてプログラミングやICTを学習できる講座を支援しております

《各詳細》　https://www.sysj.co.jp/company/company-approach-sustainability/sustainability-social-contributions

Copyright ©2023 SYSTEM INFORMATION CO.,LTD. All Right Reserved.

本資料には、当社の見通し、目標、計画、戦略などの将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、将来における当社の実際の業績または展開と大きく異なる可能性があります。

本資料に記載されている社名、製品名等は各社の商標または登録商標です。

＜IRに関するお問合せ＞
https://www.sysj.co.jp/contact/contact-form

Copyright ©2023 SYSTEM INFORMATION CO.,LTD. All Right Reserved.